

平成 29 年度事業計画書及び収支予算書

自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日

一般社団法人 アルコール協会

1. 調査研究事業

アルコールの安全、安心、安定供給へ寄与することを確保するため、技術委員会を軸として原料、製品等の生産技術、品質管理等の情報を収集し、研究するとともに、品質上の物差しとなる規格の点検を適切に行う。収集整理した国内外の情報は、アルコール使用者を含めて広く事業者提供するとともに、関係官庁及び事業者団体との情報交換に供する。

(1) 安全・安心の確保

アルコールの需要は多用途に展開しており、その大半は食品用、化粧品、医薬品などのほか、食品製造用機械器具の洗浄剤など健康・安全に直接的又は間接的に関わる分野であり、安全、安心は重要なキーワードになっている。このため、協会規格「エタノール」の規格内容を点検して適切な規格レベルを維持するよう努める。又、同規格の試験方法解説書も点検し、品質管理技術の維持向上に資する。

国際化に関しては、国際標準化機構（ISO）における燃料用エタノール試験方法の規格制定作業に対して TC28/SC7 液体バイオ燃料国内委員会を通じての提案などにより協力する。

(2) 環境対策

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（いわゆる化審法）が改正されて、エタノールを含めて全ての化学物質が規制の対象となり、国は用途毎の数量を把握して、環境への負荷を評価することになっている。

エタノールの用途は極めて広範囲にわたり、又、流通ルートも多岐にわたっているため、当協会は、経済産業省の協力を得て、化審法規制に対応したアルコール用途別の需要に関する調査を行い、それを元に「用途別出荷量計算シート」を作成して、アルコール製造事業者、輸入事業者にメールで提供する予定である。これにより、当協会は、これら事業者の便宜に資するとともに、国にできるだけ正確な情報が伝わり、適正な規制が行われるよう協力する。

(3) 受託事業等

アルコール事業法に関わる調査課題について、協会の専門的能力を活用して調査研究等を実施する。

2. 情報調査事業

アルコール及びこれに関連する分野に関わる情報調査において、アルコールの安定確保に関する海外市場の動向情報及び国内におけるアルコールの需要動向情報の重要性が一層増している。このため、前年度に引き続いてアルコール及びアルコールに関連する国内、海外の動向等の情報収集を実施するとともに、収集した統計や資料等の情報を分析し、月刊の「アルコール情報ダイジェスト」、協会ホームページ等を通じて提供する。

(1) 海外市場の動向

我が国の原料用アルコール輸入の大半を占めるブラジルにおいては、砂糖価格の上昇によりエタノールの生産比率が低下している。又、かつては我が国への主要輸出国の一つであったタイは、バイオ燃料導入政策の進展による国内需要の増大もあって輸出余力がなくなっている。さらに、我が国への輸出国の一つであるパキスタンについても輸出先の多様化等により、同国からの輸入の大幅な増加は期待しがたい状況となっている。

このような状況を踏まえ、世界のアルコール市場動向、主要アルコール生産国におけるアルコール需給動向、関連商品市場動向及び各国のバイオ燃料導入政策の進展状況等の把握が重要となっている。このため、前年度に引き続いてアルコール及び関連する海外情報の収集整理を継続的に行う。

又、会員への情報提供サービスの一層の充実強化のため、海外におけるアルコール関連情報を収集整理し、最新の FAO 及び米国農務省 GAIN Report 等の海外情報から関心のありそうな情報を整理要約し、会員及び経済産業省に情報提供する。

(2) 国内需要の動向

事業法アルコールの需要量は近年底堅く推移しており、平成 26 年度以降 70 万 kL を上回る水準となっている。用途別にみると、工業用化学品やアルコール食品防腐剤等については増加傾向にある一方、しょう油や家庭用合成洗剤等については減少傾向がみられる。

少子高齢化が進み、総人口の減少も始まっているなど、工業用アルコールの主な需要先である食品、日用品等の分野においてはアルコール需要の減少につながりかねない構造的変化が出やすいと考えられる。このため、前年度に引き続いてアルコール及び関連する国内情報の収集整理を継続的に行う。

3. 啓発普及事業

エタノールには、殺菌・除菌作用や水溶性と油溶性の両面を持つ溶剤作用等があり、このような特性を活用し、工業用エタノールは、食品添加物、化粧品、医薬品、化学製品など幅広い分野で利用されている。

今後の需要拡大を図るためには、エタノールが持つ優れた効用や安全性等について、一般産業界、公的施設関係者、一般消費者などの理解をより一層深めていくことが重要である。このため、前年度に引き続いて、アルコールの持つ優れた効用や適切な使用方法等についての啓発普及活動を継続的に実施する。

又、新年賀詞交歓会の開催等を通じて業界間の交流の輪を広げる。

(1) エタノールの使用方法等

エタノールの使用方法等について、事業者、学校、一般家庭などからの照会、問合せが多数寄せられており、工業用エタノールの特色、適切な使用方法等を広く使用者に伝えていくよう、前年度に引き続いて資料提供などによる個別指導・支援とホームページを活用した啓発普及活動を行う。

ノロウイルスについては、平成 27 年度に策定した「ノロウイルスに係るエタノール使用ガイドライン」を活用して、「エタノールはあまり効果がない」との誤解の解消とエタノールの適切な使用方法の啓発普及に努める。

(2) 電話、電子メールによる問い合わせへの対応

電話、電子メールによる問い合わせについて、回答するとともに、問い合わせの概要はアルコール情報ダイジェストに掲載する予定である。技術委員会に提示して課題等の検討も行う。

(3) 災害時緊急連絡網

大地震（震度 5 以上を想定）が発生したときは、経済産業省に対し、アルコール協会経由で速やかに状況を通報する災害時緊急連絡網を適切に維持し、運用する。

4. 出版等事業

情報調査事業において収集した統計や資料、分析結果等の情報を月刊の「アルコール情報ダイジェスト」や当協会ホームページを通じて提供する。

又、アルコールの優れた効用や安全な使い方を一般産業界、公的施設関係者、一般消費者などに広く伝えていくため、アルコールの基礎知識、規格書等の出版物を発行し、又、当協会ホームページを通じて情報を提供する。

(1) アルコール情報ダイジェスト

アルコール情報ダイジェストを毎月発行し、協会の活動状況、国内外のアルコール関連情報等の情報提供を行う。

(2) エタノール技術関係資料

協会規格書「エタノール」、アルコール製剤除菌性能試験方法規格書、その他規格に関する海外資料等の技術資料の提供を行う。

(3) エタノールの使用方法関係資料

ノロウイルス感染予防対策のためのエタノールの適切な使用方法を示す「ノロウイルスに係るエタノール使用ガイドライン」、一般家庭におけるアルコールの利用法を豊富な実例で紹介する小冊子「使って納得！今まで気づかなかったアルコールの利用法（アルコールの基礎知識 Q&A 付属）」を配布する。

(4) アルコール協会ホームページ

協会ホームページを随時更新することにより、最新の情報を迅速に提供する。

又、ホームページの閲覧状況を把握し、アクセスしやすいホームページの構築を図る。

5. 講習会等開催事業

アルコールの国際市場の形成には、砂糖・穀物需給、原油市況、バイオ燃料需給、為替変動等に加えて、アルコール生産国の国内事情が大きく影響しており、その動向はわが国アルコール業界（生産、流通、使用）の共通の関心事項となっている。特にブラジルは、最大級のアルコール輸出能力を持っているため国際市場への影響が極めて大きく、同国のアルコール需給を巡る最新動向の把握は極めて重要な課題となっている。

このため、ブラジル事情を中心とした研究会を前年度に引き続いて開催し、海外のアルコール事情を研究する。

なお、公益的団体が開催するアルコールに関連する各種の展示会、学会等に対し、協賛、後援を通じた支援を前年度に引き続いて実施する。